

# 平成28年度 第3回奈良県・市町村長サミット

## (仮称)安全・安心の確保のための 奈良県基本計画について

平成28年11月28日(月)

警察本部 総合企画課長

島中 誠

総務部 安全・安心まちづくり推進課長

森田 圭一

# 安全・安心を脅かす事象

刑法犯認知件数は「治安が危険水域にある」と表現された平成14年と比べ3分の1にまで減少  
**犯罪の総量抑止という意味では飛躍的に安全水準が高まっている**

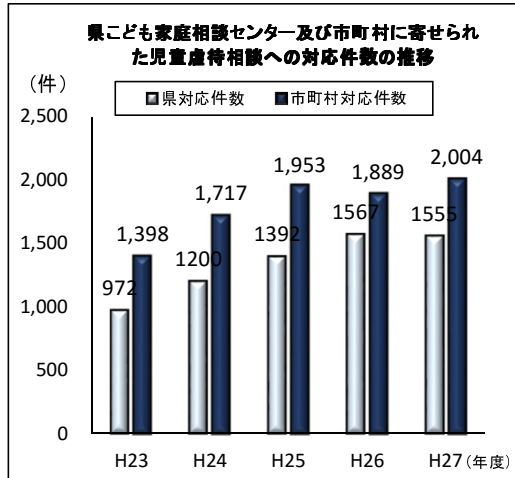
平成14年 32,017件 ◻ 平成27年10,036件

➡ しかしながら、県民の安全・安心を脅かす事象は……

## 被害に遭いやすい「社会弱者」

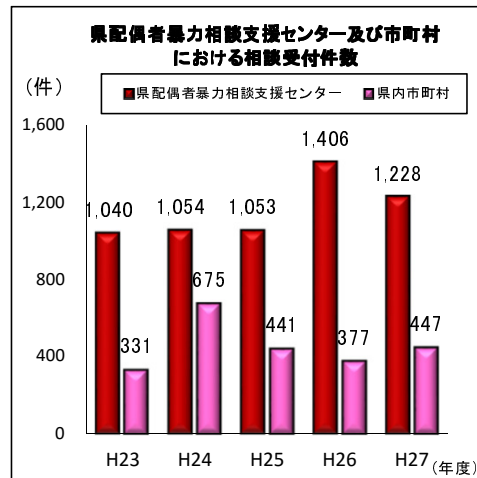
## 事象の起きやすい「場」

### 子供



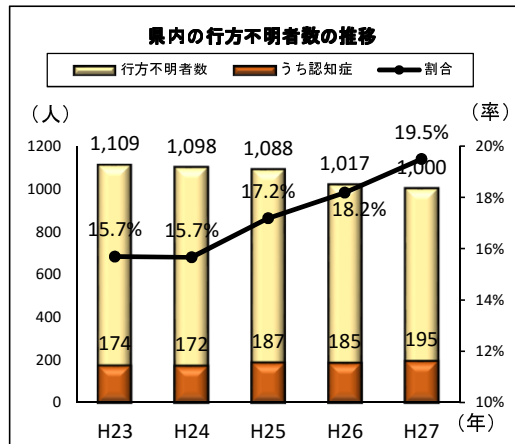
平成27年度中の相談件数は3557件、7年連続で増加

### 女性



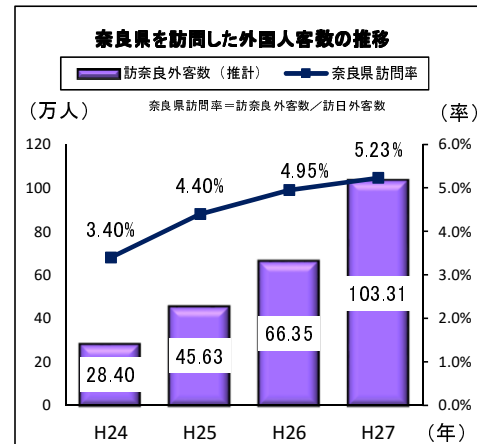
平成27年度中の相談件数は1228件、高止まり状態

### 高齢者



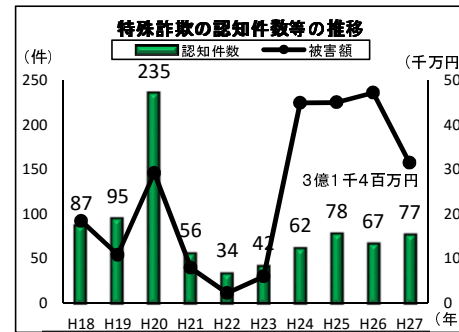
高齢者の約4人に1人が認知症またはその予備群地域での見守りネットワークの構築

### 外国人

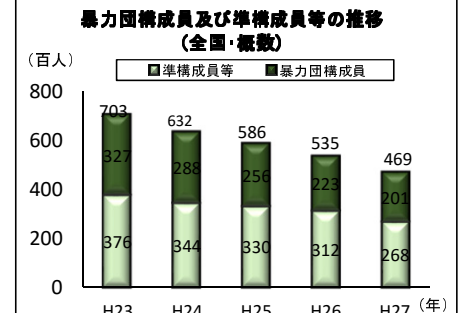


平成27年中の訪奈良外客数は推計103万3千人3年間で3.6倍に増加

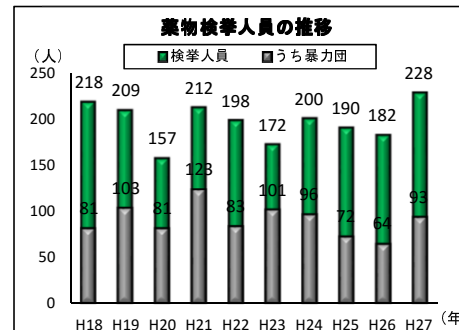
### 犯罪が発生しやすい「場」



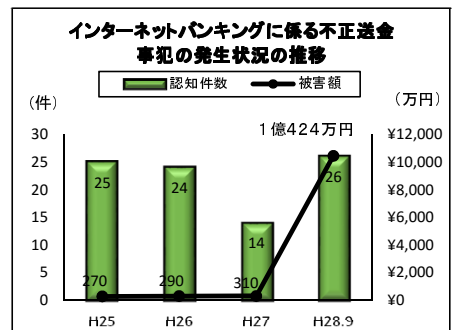
被害者の約8割が65歳以上の高齢者



資金獲得活動は一層不透明化・多様化

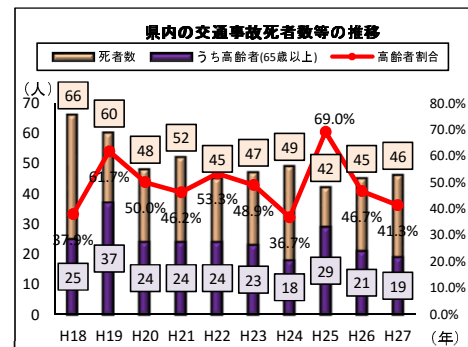


平成27年中の薬物検挙人員228人、過去10年間で最多

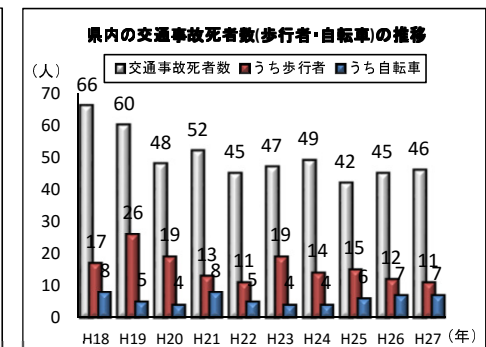


日本の企業や政府機関などがサイバー攻撃を受けることへの不安がある85.7%

### 道路交通の「場」

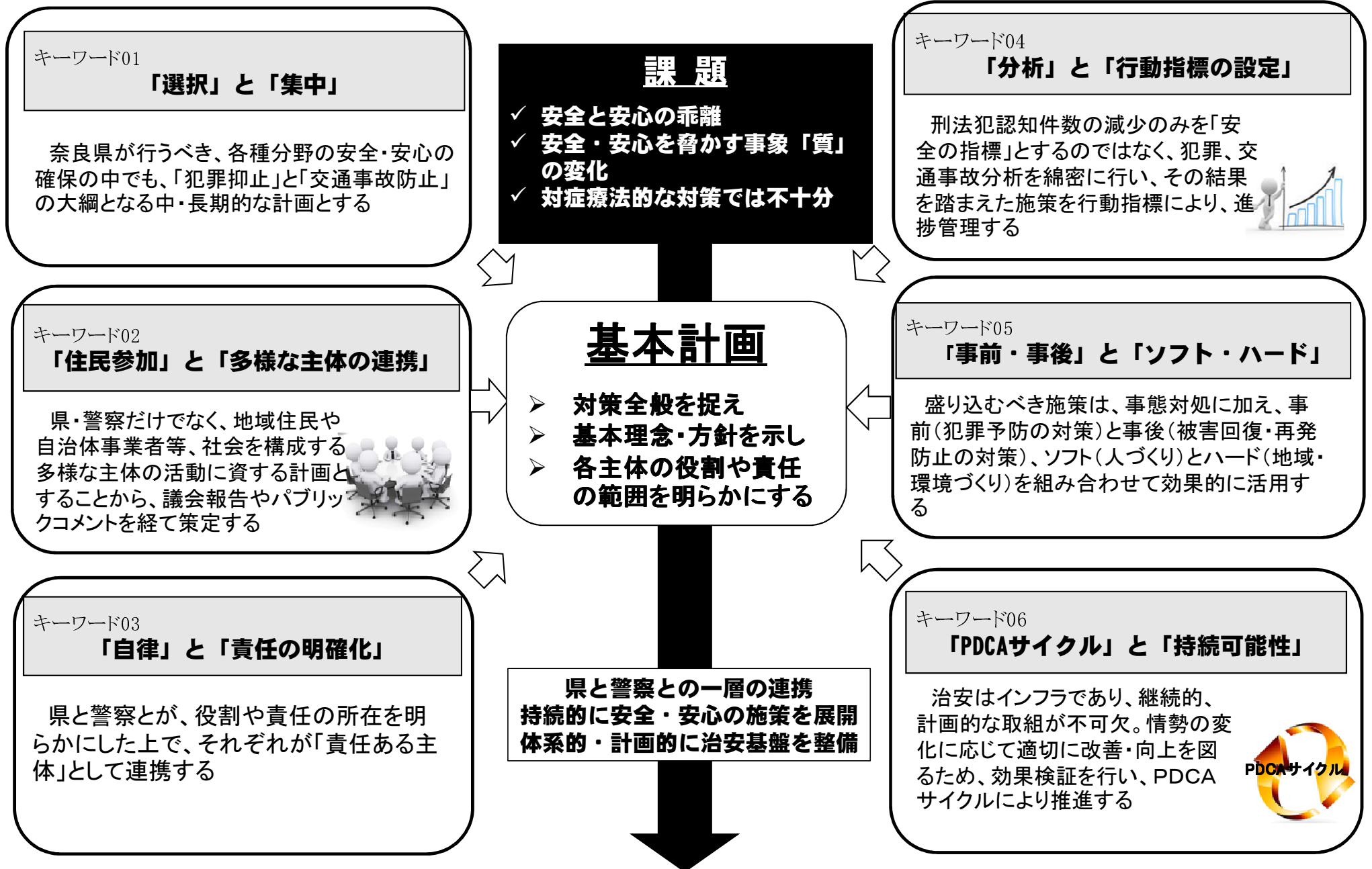


交通事故死者数は横ばい  
 高齢者の占める割合は高水準、41.3%(平成27年中)



歩行中及び自転車乗車中の交通事故死者数は減少せず

# 「基本計画」のコンセプト



日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現